

Sikaflex®-227

シーカ®フレックス-227

速硬化型自動車補修用シーリング材

製品技術データ

主成分	1成分形ポリウレタン
色 (CQP ¹⁾ 001-1)	ホワイト、グレー、ブラック
硬化機構	湿気硬化
密度 (未硬化)(CQP 006-4)	約 1.3kg/L (色による)
形状保持性	良い
施工温度範囲 (接着剤と被着材)	+5°C~+35°C
タックフリータイム ²⁾ (CQP 019-1)	約 40分
硬化速度 (CQP 049-1)	グラフ参照
収縮率 (CQP 014-1)	約 5%
硬度(ショア A) (CQP 023-1 / ISO 868)	約 40
引張り強度 (CQP 036-1 / ISO 37)	約 1.7MPa
破断時の伸び (CQP 036-1 / ISO 37)	約 600%
引き裂き強度 (CQP 045-1 / ISO 34)	約 6N/mm
ガラス転移点 (CQP 509-1 / ISO 4663)	約-45°C
変形追従性	約 12.5%
適用温度範囲 (CQP 513-1)	-40°C~+90°C
保存期間(25°C以下で保管) (CQP 016-1)	12カ月

¹⁾ CQP = Corporate Quality Procedure ²⁾ 温度 23°C、相対湿度 50%の時

製品概要

Sikaflex®-227 は自動車など工業用のシーリング材として開発されたものです。硬化後は耐久性のある弾性体となります。

Sikaflex®-227 は ISO9001/14001 の品質および環境マネジメントシステムのもとに製造されています。

特長

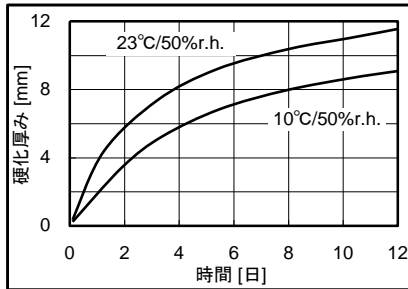
- 糸切れ性が良い
- 速硬化性
- 低臭
- 上面に対しての施工が可能
- 多くの被着材に優れた接着性 (適切な表面処理後)
- サンディング可
- タックフリー前の上塗り塗装が可能 (上塗り塗装の項目参照)
- 耐老化性
- シリコンフリー

適用範囲

Sikaflex®-227 は速硬化型のシーリング材として自動車など幅広い工業分野で使用できます。鉄、アルミ等の金属、樹脂などの継ぎ目の防水シールとして最適です。Sikaflex®-227 は施工経験のある専門業者での使用を前提としています。使用する被着材と施工条件に対する接着性と適合性の事前確認は必ず実施して下さい。応力亀裂を起こしやすい材料(ポリカーボネート、アクリルなど)の上にはその材料のメーカーにご相談の上ご使用下さい。

硬化機構

Sikaflex[®]-227 は空気中の水分(湿気)との反応により硬化します。一般に低温低湿時は空気中の水分が少なく、硬化は遅くなります。反対に高温高湿時は空気中の水分が多く、硬化が早くなります。(グラフ 1 参照)



グラフ 1: Sikaflex[®]-227 の硬化速度

耐薬品性

硬化後の Sikaflex[®]-227 は淡水、水性洗浄剤に対しては耐薬品性があります; 燃料、鉱油、植物油および動物性油脂に対しては一時的な耐薬品性があります; 有機酸、無機酸、アルコール、アルカリ溶液、溶剤に対しては耐薬品性はありません。

上記は一般的な性能であり、個々の特別な用途については日本シーカ株式会社工業製品本部技術部までお問い合わせください。

施工方法

下地処理

まず被着材の接着表面の水分、ゴミ、ホコリ、油脂類(特にシリコン汚染)などを完全に除去し清潔で乾燥した状態にしてください。接着面は必ず適切なプライマーや接着促進剤などを使用してください。金属の種類によってはプライマーなどの処理の前にサンディングや研磨などが必要な場合があります。特定の用途については日本シーカ株式会社工業製品本部技術部までお問い合わせ下さい。

施工

カートリッジ: 先端のアルミ箔に孔を開け、アルミ箔は完全に除去して下さい。

ノズルの先端部をシールする幅に合わせて適当な大きさにカットして下さい。一旦、開封したものは出来るだけ早く使い切ってください。周囲の温度および被着材の温度は5°C~35°Cの範囲内で使用して下さい。ただし両者とも最適な温度範囲は15°C~25°Cです。

ポンプでの施工に関しては日本シーカ株式会社工業製品本部技術部までご相談下さい。

仕上げ

仕上げは、タックフリータイムまでに行ってください。

注意

表面硬化前の Sikaflex[®]-227 にアルコールおよびシリコン、変成シリコンを近づけないで下さい。

Sikaflex[®]-227 の表面未硬化の原因となります。

上塗り塗装

上塗り塗装は Sikaflex[®]-227 の完全硬化後に行うのが最も望ましい条件です。Sikaflex[®]-227 の完全硬化前に塗装をする場合は、塗装後強制乾燥を行わず常温で硬化させて下さい。(発泡、ブリストアが発生する場合があります)

また Sikaflex[®]-227 の表面硬化(タックフリータイム)前に塗装を行う場合、塗料・シンナーの中にアルコールを含有していないことを確認して下さい。(アルコールを含んでいる場合、表面がいつまでも未硬化となります)。使用する被着材と施工条件に対する接着性と適合性の事前確認は必ず実施して下さい。

除去

硬化前の Sikaflex[®]-227 は適切な溶剤などを用いて工具や機械から取り除いて下さい。硬化後は機械的に取り除くしかありません。

手など皮膚に付着した場合は直ちに工業用ハンドクリーナーと水で洗い流して下さい。溶剤は使用しないで下さい。

荷姿

カートリッジ	310mLx25 本/箱
--------	--------------

その他の情報

特定の施工方法における要領手順書は、本プロダクトデータシートに記載されている技術データを含んでいる場合があります。また、以下の資料はご要求に応じて提供いたします。

- 製品安全データシート (MSDS)

データについて

本紙のデータについては研究所でのデータであり、実際には予測不可能な条件により数値にバラつきが生じることがあります。

健康と安全に関する情報

安全な運搬、作業、保管、廃棄を行うために、物質、環境、毒性、その他の安全に関する情報の記載されている製品安全データシート(MSDS) の最新版をご覧ください。ご要求に応じ提供いたします。

免責事項

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係から生ずる責任をもちません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかどうかを予め確認して下さい。当社は製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

詳細のご案内はこちらまで
<http://www.sika-japan.co.jp/>

日本シーカ株式会社
工業製品本部
〒108-6110 東京都港区港南 2-15-2
品川インターシティ B 棟 10 階
TEL 03-6433-2314 FAX 03-6433-2102

